

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 18 年 2 月 23 日 (2006.2.23)

【公開番号】 特開 2003-219280 (P2003-219280A)
 【公開日】 平成 15 年 7 月 31 日 (2003.7.31)
 【出願番号】 特願 2002-379906 (P2002-379906)
 【国際特許分類】

H 0 4 N **5/335** **(2006.01)**
G 0 6 T **1/00** **(2006.01)**
H 0 1 L **27/148** **(2006.01)**

【F I】

H 0 4 N 5/335 P
 G 0 6 T 1/00 4 6 0 A
 H 0 1 L 27/14 B

【手続補正書】
 【提出日】 平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 特許請求の範囲
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 画素値を表す出力をサンプリングする集積回路であって、

(a) それぞれが可変範囲のキャパシタンスを有し、それぞれが前記画素値を表す電圧を受ける、2 つの第 1 可変キャパシタと、

(b) 前記第 1 の可変キャパシタのそれぞれに電気的に接続され、前記可変キャパシタのそれぞれに電圧を伝送する、2 つの第 1 トランジスタと、

(c) 前記第 1 の可変キャパシタのそれぞれに電気的に接続され、前記可変キャパシタのそれぞれからの電圧を伝送し、バンド幅の制御を可能にする、2 つの第 2 トランジスタと、

を含む、集積回路。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の集積回路であって、

それぞれが可変範囲のキャパシタンスを有し、前記第 1 の可変キャパシタにそれぞれ電気的に接続されて、前記第 2 のトランジスタにパルスが印加されると、第 1 の可変キャパシタからの電圧を受ける、2 つの第 2 キャパシタをさらに含む、集積回路。

【請求項 3】 請求項 2 に記載の集積回路であって、前記 2 つの第 2 キャパシタから電圧を受けて結果的な絶対電圧を決定する差動増幅器をさらに含む、集積回路。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】 明細書
 【補正対象項目名】 0 0 0 6
 【補正方法】 変更
 【補正の内容】

【0 0 0 6】

【課題を解決するための手段】

本発明は、上記の問題を 1 つ以上解決するものである。簡単にまとめると、本発明の 1 態様によれば、画素値を表す出力をサンプリングする集積回路であって、

(a) それぞれが可変範囲のキャパシタンスを有し、それぞれが前記画素値を表す電圧を受ける、2 つの第 1 可変キャパシタと、(b) 前記第 1 の可変キャパシタのそれぞれに電

氣的に接続され、前記可変キャパシタのそれぞれに電圧を伝送する、2つの第1トランジスタと、(c)前記第1の可変キャパシタのそれぞれに電氣的に接続され、前記可変キャパシタのそれぞれからの電圧を伝送し、バンド幅の制御を可能にする、2つの第2トランジスタと、を含む集積回路が提供される。